

令和6年度 長野市北部・南部発達相談支援センター活動報告

長野市では障害のある子どもや、発達が気になる子どものご家族の相談に応じ、子どもたちが適切な支援が受けられ、ご家族が安心して子育てできる環境を整えていくお手伝いをするため専門の相談員を配置しています。

◇福祉制度に関すること

- ・ 障害のある子どもの福祉についての相談
- ・ 障害者手帳に関する相談
- ・ 子どもが利用できる施設等の情報など



◇子どもの発達に関する相談

- ・ 子どもの障害についての相談

フキアール門ナフロミク ナ、い



【令和 6 年度 長野市北部・南部発達相談支援センターの相談実績（R6・4～R6・12）】

～ 相 談 に 関 わ る 支 援 の 件 数 （ 延 べ 件 数 ） ～
(件)

訪 問	(園・学校関係、子育て広場、福祉事業所など)	205
来 所	(センターへ来ていただいたの相談)	223
同 行	(福祉事業所、園・学校関係など)	102
電話、メール	(家族、親戚関係からの連絡。匿名での問い合わせもあり)	2055
支援会議	(福祉事業所、園・学校関係など)	226
関係機関	(園・学校関係、福祉事業所、児童相談所、保健センター、医療機関、こども総合支援センターあのと、子育て支援課など)	153

～ 相 談 児 (者) の 障 害 別 件 数 ～
(件)

身体障害	(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、医療的ケア児等)	45
重症心身障害		0
知的障害		334
精神障害		142
発達障害		1126
その他	(こどもは発達が気になるということはあるても手帳がな	1091

かったり、確定診断されていないことも多くありその他に入れている)	
---	--

【会議関係】

- ・長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）

→ケアマネ連絡会、こども部会、医療的ケア支援委員会、相談支援事業所連絡会

- ・長野上水内特別支援教育コーディネーター連絡会

→運営委員会、各支会の連絡会に参加（職員向け研修会、小中の連絡引き継ぎなど）

- ・こども総合支援センター「あのえっと」連絡会議

- ・長野市就学支援委員会

- ・長野圏域子ども相談連絡会（療育 Co、長野市、千曲坂城、須高、飯綱、小川村）

- ・長野市ひきこもり支援ネットワーク会議

→地域でのひきこもり支援の推進のため、ひきこもり支援を行っている機関や団体が相

互に連携できる体制構築を目的に意見交換

- ・長野県療育部会（県自立支援協議会）

- ・長野県市町村発達障がい担当者会議

【地域連携事業】

- ・こども広場 じゃんけんぼん 療育相談（毎月）・・子育てや発達について相談を受ける。

- ・こども総合支援センター あそびの教室（保健センター 5 カ所、年 4 回ずつ）・・乳幼

児健康診査等の結果、何らかのフォローが必要とされる児と保護者の教室。福祉サービス

につなげるメリットがあると思われる児や保護者の抽出やスタッフとの検討

- ・長野市大豆島小学校職員研修「教育と福祉の連携について」講師
- ・保育園・幼稚園・認定こども園への訪問・カンファレンス
- ・小学校、中学校への訪問や、支援会議への参加
- ・発達障がいサポートマネージャーと療育コーディネーターと高校訪問
- ・発達障がいサポートマネージャーと療育コーディネーターと児童養護施設への訪問

【相談の中で感じる現状や課題】

・乳幼児期：健診フォロー教室、保育園、幼稚園、認定こども園に関わっている、あのえっとの発達相談員、保健師や園の先生から、支援の必要なお子さんの相談が年々増えている。今は多くの園で、児童発達支援事業所を併用利用しているお子さんがいる現状があり、園での集団活動が難しくなってきたお子さんに福祉サービスを紹介する園も増えてきている。障害や発達特性があるから、すぐに福祉サービスの利用を進めていくのではなく、園等、地域の中での支援の工夫を提案しながら、個々に応じた支援が受けられる体制づくりを関係機関としていくことが求められる。

・学齢期：学校、医療機関から福祉サービスを勧められたという保護者からの相談が多い。学校生活における対人面、学習面などで困難さがあるケースや不登校のケース、家庭内での支援が必要なケース等、お子さんの支援だけでなく、家庭全体の支援が必要なケースも多く、各関係機関と重層的に連携していく必要がある。

・義務教育終了後や18歳以降大人へのつなぎの体制整備が必要である。

今後の障害児相談支援センターの役割として、従来からの障害児の支援に加えて複雑なニーズのある子どもやその家族に対する専門的な支援や相談を提供し、医療、保育、教育等の他機関との連携体制を構築していくとともに、地域での障害への理解の促進をし、多様性を尊重したインクルーシブ教育・社会の実現を目指していきたいと考えている。